

ベナンの風便り

2010年2月号

みなさんお元気ですか？3年生のみなさんは入試も始まり、自分の進路に向けて一生懸命取り組んでいることと思います。まだまだ寒い日が続いていると思うので、体調を壊さないように頑張ってくださいね。

さて今回は、大和中学校からベナンへ寄付していただいたサッカーボールの使われ道について紹介したいと思います。

大和中サッカーボールの使われ道

現在ベナンには、50名以上の青年海外協力隊員が派遣されているのですが、その内約15名の隊員が学校保健分野の協力を携わっています（ちなみに先生は理数科教師隊員です）。その背景としては、外で遊んだりした後、手洗いをせずに、そのままの手で食事をするにより、腹痛や下痢を起こし、病気になってしまう生徒が多いということがあります。そのため、学校保健に関わっている隊員たちは各小学校を巡回して啓発活動を行ったり、保健委員会を強化したり、また他機関との連携



井戸で水汲みをする女子生徒たち



手洗いを実践する生徒たち

を深めたりなどの活動を行い、手洗い等の習慣化を目指しています。

ただ、日本のように学校に水道があって、それが自由に使えるのであれば簡単なのですが、特に村落部では学校に水がなく、

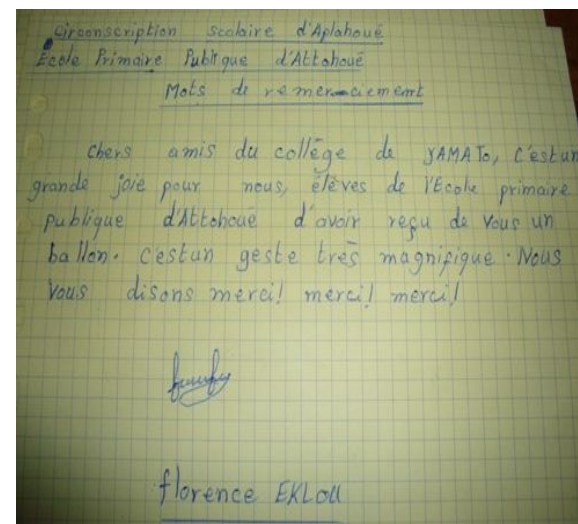
容易に手洗いをすることができないのが現状です。それでは学校に水道がないのにどのようにして手洗いをするのかというと、生徒が井戸まで歩いて行き（井戸まで遠い学校で約3km）、水をバケツに汲んで運んで来て水を確保しないといけないようです（汲みに行くのは女子生徒が多いようです）。しかしながら現実には、水を汲みに行かないといけないために、授業を受けられなかったりという弊害もあるそうです。日本では考えられないことですよ。

そのような現状を少しでも改善してもらうために、同期の学校保健隊員がある地域の全小学校を対象に、保健衛生教育実践コンクールを行いました。内容については、水の確保（飲料用・手洗い用）とその利用、トイレの設置と利用、清掃とそのゴミ処理をチェックしたようです。そしてその優秀校に景品としてサッカーボールを贈呈するというところで、みなさんから送っていただいたサッカーボールの一部を活用させていただきました。先生の任地・ポルトノボは首都のため、比較的ボールがあるのですが、田舎ではサッカーボールが容易に手に入らず、初めてサッカーをする生徒たちもいたようです。みんな本当に喜んでくれていたようですよ。みなさん本当にありがとうございました！



大和中学校からのボールと共に。後ろの木の枠はサッカーゴール。みんな裸足でサッカーをします。

最後にボールを贈ったアットフエ小学校のみなさんからの手紙を紹介したいと思います。



アットフエ・アットフエ小学校

大和中学校のみなさんへ

みなさんからサッカーボールを頂いて、アットフエ小学校の生徒たちはみんな喜んで
います。本当にありがたいことです。
ありがとう！ありがとう！ありがとう！

フローランス エクルー（生徒代表）

ブログ更新中

ベナンの風：<http://benin.seesaa.net/>